

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（茅 號）

左記は、ズボトカより、舞鶴に派遣した各頭書の者の申告によるものである。

記

[illegible]

舞綾連第 二號 六〇

昭和二十二年四月二十五日

舞鶴上陸地連絡所長

各履職務處理部 復員業務課長殿

死双者に關する件・通知（茅號）

左記は、アトカより舞鶴に返還した各頭書の者の申告によるものである。

卷

[illegible]

4236

39-13

7

舞鶴上陸地連絡所表

左記は「サカトカ」より舞鶴に飯還した各頭書の者の申告によるものである

21/2

4237



昭和二十二年四月三日

舞鷗上陸地連絡所長

卷後殘務處理部 復員業務課長殿

死歿に關する件 通知(茅 號)

左記は、ザルツカより舞鶴に派遣した各頭書の者の申告によるものである。

龍

4238

昭和三十三年十一月十五日

佐世保地方復興事業部復興事業課長殿

記

昭和三十三年十一月一日佐渡人第立群八七四号並照会ありし
件はつきりし回答申上す

一、氏甲告口依了 氏は

一、死亡年月日  昭和三十三年二月四日

元整 ^上終結時
九〇一空所

一、同人所管別 号鑑 入籍番号不明

一、死亡原因及場所 伐採作業中木材の下敷と全う頭がい
骨が砕け 脳脊髄系に損傷を及ぼし第五腰椎骨折を要場

佐世保地方復興局

一、参事官、

人、
の遺囑は、昭和二十三年五月十四日、市海上

陸、陸、市海上の牙、復、部、(海軍、関係)の係官に年

渡、当時、情状を詳細に説明し、おきまゝした。

人、別に同収容所が、私、の、死、した者、(海軍)

元警長、
昭和二十一年一月十日、死亡

元警長、
昭和二十一年二月、死亡

元警長、
昭和二十一年一月二十日、死亡

(水、下、等、知、る)

人、以上、名、の、死、因、は、い、れ、も、不、明、な、間、で、あ、り、ま、す、。

(終)

死歿者調書

[illegible]

右の通り承知し、その旨を所長に申上ります。

昭和二十五年十一月一日

陸軍

申告者の			
入籍番號	本籍地	現住所	所属部隊
		右全	満洲軍即ち東北軍部隊
再級	一等号	代名	

備考

- 一本調書は死没者の身上関係一切を處理するものである。
- 慎重に且詳細に記入し下す。
- 他人の隠し承知した事項は其の旨末尾の餘り記入し下す。

裏面記載上の注意を見て書いて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査書に附いて下さい)

42 43

一、本証明書は、未燃遺者の死亡の処理を行う場合の基本となる証拠書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記帳が不確実なる箇所には？をつけてその旨を明かにして下さい。

二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した（見た）死水をとつた、屍衛兵に立つた、慰霊祭又は葬儀に立合つた、誰かから聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

三、死亡当時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又参考資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴（容貌、体格、特長、前職等）」「死亡者が軍属の場合は、その官等係給（日給）、採用年月日等」その他死亡者について御承知になつてゐることは附記して下さい。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補偏した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入しなかつたものと明瞭にすること。

AG-70

舞復連第二部

昭和二十二年四月十九日

舞鶴上陸地連絡所長

各復殘務処理部復員業務課長殿

死歿者に関する付通知(等 別)

左記は、小力より舞鶴に販運した各頭書のある者の申書によるものである。

記

氏名	年齢	性別	籍地	備考
元山 根 兵衛長				
元山 上 整				
病死	昭和二十二年四月十九日	男	本籍地	

(74)

死 亡 現 認 (確) 証 明 書

裏面記載上の注意を見て書いて下さい (※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい)

資 料 提 供 者		死 亡 現 認 (確) 証 明 書							所 属 部 隊		地 区 局 面		役 職	
法 方 た っ 知 を 亡 死	遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 諸 亡 死				区 分	現 留 守 担 当 者	本 籍 地	所 属 部 隊	地 区 局 面	役 職	名 氏	年 月 日 生
			死 亡 区 分	発 病 時	傷 病 名	死 亡 場 所								
本 名 の 差 標 を 見 た			戦 病 死	昭 和 21 年 5 月	栄 養 欠 調	アルケヨム第一分所内病院	昭 和 22 年 3 月 30 日	内 容	縣 府 道 都	東北海軍航空隊	※	補 給 官	氏 名	
係 関 の と 者 亡 死			※ 甲	※ 乙	※ 甲	※ 甲	※ 乙	確 度						
隊 部 属 所 所 住 現		一、死亡当時の状況及び参考資料 昭和22年8月16日に於て慰霊祭が行われ、アルケヨムに於て慰霊祭が行われ、たけの墓標を見た。 二、同じ郷里(月道、月部)の關係に記憶に残る。												
名 氏 級 階		背負 306 部隊 背負 2 部隊												

本府入道...
 同治...

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

元	振	水					
---	---	---	--	--	--	--	--

鹿角

鹿角

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

鹿角

鹿角

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

鹿角

鹿角

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

鹿角

鹿角

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

鹿角

鹿角

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

新式

381

本籍地

現籍地

死に 認 証

右

全

海軍一等整備兵

[Redacted]

年 月 日生

[Redacted]

昭和二十三年三月五日、兵隊に入隊、其の後朝鮮元山四一九部隊
轉属、其の後終戦となりシベリヤに移送、承る所を以て収容所に勤務
昭和二十七年七月、瀕死となり、口絶、其の病状に入院中、昭和二十八年
七月、年八十八、公 爵病及於其、天調の為、死す

正産認致し候

昭和二十七年十月一日

夜中、原中事

[Redacted]

敬

22-10-22

素和並物に物注ぎ^(一)其を盛る下は^(二)
 (三)及強表而の蓋柄に記號に依り法を在又母方がわが如きの亮加あり法にたら現世
 上已開の生下等也

4254